

目元の小じわ、「瞬き」原因

カネボウ化粧品など実証

カネボウ化粧品は青山学院大学理工学部機械工学科の米山聡准教授と共同で、目元でできる小じわの原因の一つが「瞬き」であることを実証した。瞬きによって局所的にできる皮膚表面の「ひずみ」の繰り返し、小じわの形成に関与している。また保湿を行い、乾燥を防ぐことで局所的なひずみを緩和させることも見い出した。この成果を踏まえて、スキンケアの大切さをカウンスリング販売を行う店頭などを通じてあらためて訴求する。

今回、米山准教授と共同で、「瞬き」など日常的な皮膚の動きで生じる皮膚表面のひずみの分布を3次元デジタル画像相関法で計測する手法を確立。29～71歳の女性21人を対象に基礎化粧品の使用を1週間止めてもらい、その前後の肌状態と瞬き時のひずみ分布を測定した。

その後、保湿化粧品を塗布し計測した結果、ひずみの範囲が広くなり、小じわの状態が改善した。これまで目元でできる小じわの原因が加齢や紫外線の影響だけでなく瞬きであると推測されていた。今回の研究でそれが実証された形となった。

1週間基礎化粧品を使用しないことで対象者の肌の水分量や柔軟性が減少し、下まぶたの小じわが悪化した。さらに1週間使用しなかった皮膚の方がひずみが生じる範囲が狭いことが分かった。この結果から、ひずみの